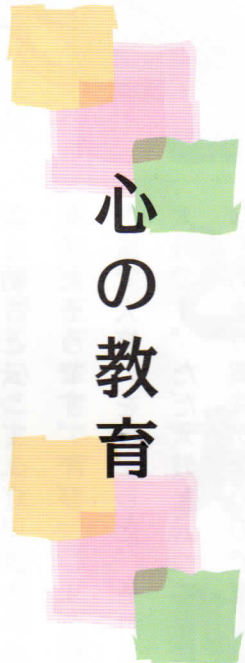
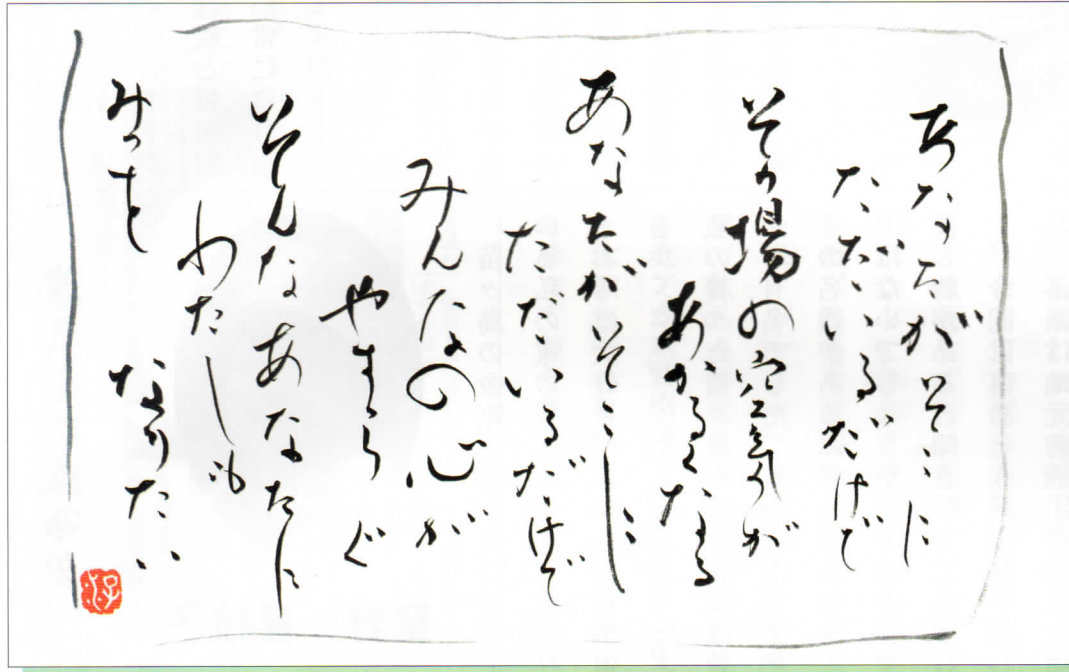




発行 真言宗豊山派 霊松山歓喜院
金剛寺

〒371-0241 前橋市苗ヶ島町1147
TEL 027(283)6918 FAX 027(283)6815
<http://www.raijin.com/kongouji/>



心の教育



堤 孝之

金剛寺さんとご縁をいただいでからどの位経ったのやら、子供のころから上電とバスを乗り継ぎ、その後は亡き父のバイクの後ろに乗ってうかがいました。馬場の本家が代々菩提寺としてお世話になって居るので自然でした。新宅の末っ子の父は前橋に住まい、私が生まれました。

二十二年前その父が元旦の朝突然自宅で亡くなり混乱した時お助けいただいたのが金剛寺さんでした。この深いご縁がきっかけか、平成の護寺大改修に協力参加させていただくことが出来ました。

私が平成の早期に決意し前橋市議会議員に初当選させていただく

時から心の教育を訴えて来られたのも志田住職の影響かと思われれます。

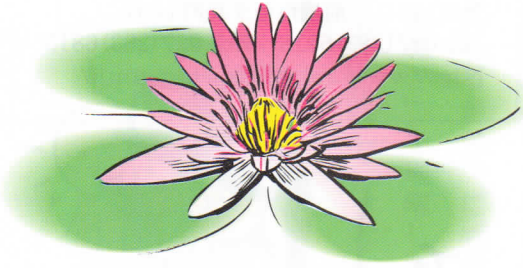
住職の数々の講演・講話、また保護司、行政相談委員を始めとする実践・実績。ボランティアといえども心の問題と直面し親身になって向き合う住職の姿には感動します。私たちは悩み、恨み、ねたみ、流行に左右され自分の生活にだけ追われ他人に救いを求め、口の堅い相談相手を求めます。そういう人が圧倒的に多いのでこの人たちが普通の人と呼ばれるわけです。何かあったら他人のせい、一〇八つの無限の煩惱をたぎらせ悶々と暮らす。私自身普通のひとです。

他方純粹に生きていけるけなげな人もおおいことは事実です。流行の言葉でワーキングプア、一生懸命なのに浮かばれない、本来道徳論からすれば真っ先に救われるべき人たちです。

モラル、マナーの低下が叫ばれ子供の荒廃は親の教育のし直ししか

らといわれ、誰もが納得しますが、誰も自分以外の人の事だと疑いも持ちません。私も普通の人ですが役目柄ギリギリの倫理観と将来観をもつて決断するため常に自身自身に問い直す事はしますが、人に教育をすることは出来ません。

人に教えるを論ず事は職業的にも教育者として訓練を積んだ方か宗教者の方々か、そういった経験のある方々に、心の教育に取り組んでいただき、また心の相談相手になつていただきたいと臨みます。志田先生が実践されて居ることを見るに付け。



落語と太鼓の夕べ



星野 喜枝子

苗ヶ島の金剛寺は十代つづいてある私の家の菩提寺です。墓参りとお寺は大好き。境内へ入り参道を歩くとなぜか心がなごむのです。私の育つた苗ヶ島金剛寺の桜は昔から有名でした。年を経てもまだその名残があるお寺心のふるさとはないでしょうか。そのお寺で催し物があると聞き行つて見ました。今回は落語と太鼓の夕べでした。落語は地元前橋出身の「立川談之助」と云つて「立川談志」の弟子だそうです。汗びつしよりの熱演で大笑いをしました。それと太鼓です。ただ太鼓と云つても私などあまり興味がないので真面目

に聞くことはなかったのですが、今回仏教の太鼓と云うものをはじめめて聞きました。宗派によつていろいろな違いのあることも知りました。そしてその音色にも聞き方によつては、とても美しく響くのです。私語一つなくその演技に聞き入る人々、広い本堂の中は熱いものがありました。宗教の違い、宗派の違いはあつても、お互いを認め合つて仲良く生きてゆける日本は心の広い国だと思ひました。虫の声もする秋の彼岸の一夜を有意義に過ごすことが出来ました。今年も又都合をつけて聞きに行きたいと思つております。

落語と太鼓の夕べに参加して



角田 敦子

平成十八年九月二十二日、金剛寺にて開催されました、落語と太鼓の夕べに参加させて頂きました。私は落語を聞くのが初めてのことで、とても楽しみにしておりますでしたが、当日は、幼稚園の年長の息子も一緒に参加させて頂いたので、最後まで静かにしていらるかどうか、心配しながらの参加でした。でも、その心配もすぐに忘れてしまい、太鼓はとても真剣な表情で聞き、落語の最後には、親子で声を立てて笑つていました。終わつた後にご住職様から落語家の立川談之助さんは、お母様を亡くされたばかりとのお話を伺い、何とも言えない気持ちになりました。プロとして、どんなに悲しい時にも舞台上上がること、ましてや、お客様には楽しんでもらわなくてはいけない職業ということ、私にはとても真似の出来ないことだと思ひました。

ご住職様と私の出会いは、今か

「落語と太鼓の夕べ」

ら約七年前になります。夫の仕事の関係で、ご住職様と奥様には、日頃から夫が大変お世話になっておりました。七年前の新婚旅行の帰りにお邪魔させて頂いたことが初めての出会いでした。私達の結婚をととても喜んでくださったことを今でもよく覚えております。それからは、悩み事など、自分たちでは解決出来ない問題などを相談の私達の平穏な生活があります。

またまだ若輩者ですので、大変なことや苦しいこともたくさん起こるかもしれません。でも、妻として母としてのプロ意識を持って、日々成長して行きたいと、今回のイベントに参加させて頂き思いました。こちらで開催されるイベントは、チャリティということですが、私も小さなことでも何かお役に立てたらいいと思います。また次回もぜひ参加させて頂きたいと思っております。

軽妙な話芸に沸く

前橋の金剛寺
立川談之助さん迎え落語会

前橋市苗ヶ島町の金剛寺志田住職で「チャリテイ」落語会と太鼓の音色」が開かれ、前橋市出身の落語家、立川談之助さんが軽妙な話芸で約百人の来場者を楽しませた。



談之助さんは師匠の立川談志さんの話や古典落語「鮫講釈」で会場を沸かせた。来場者は、普段なかなか聞くことができ

前橋市苗ヶ島町の金剛寺志田住職で「チャリテイ」落語会と太鼓の音色」が開かれ、前橋市出身の落語家、立川談之助さんが軽妙な話芸で約百人の来場者を楽しませた。

宗派で異なるお経の上り方を知らなくてもおうみ上げた。

落語会は、地元で楽しいイベントを開こうと、志田住職を含む市内の七人の男性でつくる「遊友楽」が企画。収益金は引ききこりや不登校の子供を支援する「ぼだい樹の会」の運営に役立てる。

平成十八年十月十七日付 上毛新聞



〈撮影 志田住職〉

法話 第四話

「命の尊さ」

②

椎尾辨匡師しいおんききょうの作らえた歌に、

『時は今、心あしもとそのことに、
打ち込む生命、とわのみ生命』
があります。

この歌は、限られた人生(生命)を
をしっかり生きなさいとのメッセ
ージだと思えます。

与えられた命、限られた生命を
大切にし、自然に逆らう事も無く
「いかされてる自分」に感謝し
てこそ『命の尊さ』を理解してい
る事になるのではないでしょうか。



主な布教活動

(講演・講話・座禅等)

平成十八年七月四日

埼玉県二号宗務所

会場 本堂

豊山派仏教婦人会

平成十八年七月八日

桐生北地区

『社明運動』実施委員会

『子どもからのSOS』

会場 桐生北公民館

平成十八年七月二十五日

東京都足立区少年消防団員

会場 本堂

平成十八年九月十二日

『竜角寺落慶法要』

会場 福島県竜角寺

平成十八年九月二十八日

時宗布教研究会主催

会場 本堂

第一回地方研修会

平成十八年十月二十三日

布教総合研修会

会場 豊山派宗務所

パネラーとして出席

平成十八年十一月十一日

宮城地区柔道教室

会場 本堂

平成十九年六月二十五日

第四十九回全国布教師大会

会場 総本山長谷寺

パネラーとして出席

編集後記

平成十六年に、創刊号を出させて
いただき、早いもので今回で第
四号を発刊させて頂きます。皆様
のご理解に唯唯感謝申し上げます。

昨年開催いたしました『落語と
各宗派による御祈祷太鼓』には、
県内外より百名を越す方々が来寺
されました。

立川師匠の素晴らしい話に、堂
内は笑いの渦に巻き込まれました。
又、各宗派僧侶の方々の「般若心
経」に合わせたご祈祷太鼓の音色
の違いに、驚きの声をあげられた
方々も多くおられました。

『金剛寺ホームページ』も、今
月で二三、四〇〇人以上のアクセ
スがあり県内外の方々に、御覧い
ただき感謝の気持ちでいっぱい
です。

ホームページ内の「メール相談
室」も青少年を中心に二六〇人以
上に活用されました。この事は相
談する人や場所がないことを如実
に表しているもので、今後とも全
国的な展開になりつつあることが

伺えます。今後とも皆様のご理解
とご協力を伏してお願致します。

今回第四号は、特別寄稿に「堤
孝之先生(市会議員)」にお願
い致しました。又、昨年のイベン
トに参加されました二名「星野喜枝
子様」「角田敦子様」にご感想文
をお願い致したところ、快く承諾
して頂きご投稿いただきました。
この場をお借りして厚く感謝を申
し上げます。

末筆になりますが、『落語と各
宗派による御祈祷太鼓』の催しが、
出来ましたのは、ボランティアグ
ループ『遊友楽』の会員各位と各
宗派のご住職様の御協力の賜と、
重ねて感謝申し上げます。

合掌
住職 記

お願い

新潟県中越沖地震義援金を募集

皆様方の暖かいご支援をお願い致
します。

(第一回義援金を七月十七日に送
金させて頂きました。)

お知らせ(檀信徒役員会議で決定)
鐘楼堂の屋根を改修することにな
りました。

(大正十一年建立)